

都技 生涯 研修 講習会 IV

[講師及び演題]

テーマ 小澤 謙太 先生…… 3Dプリンターによる適合精度の確立がもたらす作業効率の飛躍的な向上について

[定員]

70名

[受講費]

無 料

[受付申込方法]

当日受付（申込不要）

[会場]

フクラシア東京ステーション



- JR[東京駅]／地下鉄[大手町]駅→地下直結・B6出口直結
- JR[東京]駅→日本橋口徒歩1分

駐車場がございませんので、お車のご来場はご遠慮願います。



←こちらより地図に
アクセスして
いただけます。

[お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

FAX : 03-3576-5615

令和元年度

応用講習会IV

3Dプリンターによる適合精度の 確立がもたらす作業効率の 飛躍的な向上について

～保険義歯クラスプ、フレーム製作における
3Dプリンター実用化の紹介～



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]

令和2年 2月16日 日

受付 12:30 開始 13:00 → 終了 17:00

[会場]

フクラシア東京ステーション

[講師]

小澤 謙太 先生

有限会社小澤デンタルラボラトリー代表取締役社長

一般社団法人 東京都歯科技工士会

都技
生涯
研修

歯科技工士になって、16年の歳月が過ぎました。入社当時、がむしゃらに働いて友達に仕事の大変さをアピールしていたのも、今となっては良い思い出として残っています。現会長である私の父も歯科技工士として夜遅くまで仕事をしていたのでそれが当たり前だと思っていたし、それこそが仕事の醍醐味だとも感じていました。

しかし、ここ数年は歯科技工士の離職率の高さに加え、現役歯科技工士の高齢化、新人歯科技工士の減少とCAD/CAMなど機械化の波が同時に押し寄せて、大きな変革期を迎えています。加えて4月からの働き方改革で、この業界に限らず働く人すべてが意識の改革を迫られる時代に突入しています。

変化を求められている今、どのようにして仕事に向き合い、そして社会に貢献していけば良いのだろうか。全国に潜在する有資格者に再度活躍してもらうには、どんな手立てが必要だろうか。残業を減らすために、作業効率を見直せないだろうか。一緒に仕事をしてくれる同志を探して、分業をしてお互いに協力し合っていくことはできるだろうか。安定したクオリティを永続的にドクターに提供するためにはどうしたらいいだろうか。アナログとデジタルの融合によって老若男女もっと魅力ある業界にならないだろうか。

今回、3Dプリンターの導入によって大きく変化した作業時間と、安定した品質や、社員の意識についてお話をさせていただき、明日からの臨床に活かさせていただけたらと思います。

■講師略歴

小澤 謙太

【おざわ けんた】



2000年 愛知学院大学経営学部 卒業
2002年 松本歯科大学衛生学院歯科技工士学科 卒業
2013年 有限会社小澤アンタルラボラトリー代表取締役 就任

所属

- 日本歯科補綴学会会員
- 日本歯科技工学会会員
- 長野県歯科技工士会会員
- にしむら塾東京OB会

3Dプリンターによる適合精度の確立がもたらす
作業効率の飛躍的な向上について
保険義歯クラスプ、フレーム製作における3Dプリンター実用化の紹介